

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

| | |
|---------------|--|
| 重点戦略 | 1 協働のまちづくりと地域力のアップ |
| まちづくり宣言（基本目標） | 1 市民活動日本一を目指したまちづくりを進めます。 |
| 宣言が目指すまちの姿 | 市民一人ひとりがまちづくりの担い手として意識を持って行動し、他に誇れる活発な市民活動により、まちが支えられています。 |

1 総括

| | | |
|--|-------------|---|
| 進 捗 状 況 評 価 | B | 評価コメント |
| | | まちづくりポイント制度は、当初、ワーキンググループ会議開催の遅れの影響もあり、制度設計にも遅れが生じていたが、最終的には予定通り行うことができた。市民活動団体の立ち上げ支援制度の構築については、引き続き検討を行う。 |
| | 今後の方向性（改善策） | A 順調 |
| | | B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要 |
| 協働事業提案制度の活用に加え、新たに、まちづくりポイント制度や市民活動団体立ち上げ支援制度を導入し、市民活動の活性化を進める。また、まちづくりバンク制度についての検討を始める。 | | |

2 主要事業の概要

| 主要事業名【担当課】 | 実施工程進捗状況 | 取組状況と事業推進上の課題 |
|---|--|---|
| 優先プロジェクト まちづくりバンク・ポイント制度の構築 【市民協働課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | まちづくりポイント制度について、ワーキンググループや市民協働推進会議において、制度内容について検討を重ね制度設計を行った。平成25年度は、要綱の制定、対象事業の募集及び選定、制度の周知などを行い、1月中旬に制度を開始する予定である。 |
| 協働事業提案制度 【市民協働課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 協働事業の提案を募集し、市民協働推進会議からの提言書に基づき、実施する協働事業を決定した。市の施策へのアイデア提案については、提案者と所管課が協議・検討を行った。応募件数については、低調なため平成25年度は、団体への積極的な働きかけを行っていく。 |
| 公共施設里親制度の拡充 【施設整備課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | チラシはじめ、広報紙やホームページ、イベントなど、様々な広報媒体を活用した周知及び募集活動に取り組み、7団体と公共施設の里親合意を取り交わした。里親制度の拡大にあたっては、制度に対する理解を深めるための広報・啓発活動を行うことが必要である。 |
| 市民活動の支援 【市民協働課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市民活動団体の立ち上げ支援制度については、制度概要の検討の段階でとどまっている。 市民活動センターの運営をNPO法人に運営を移行したことで、NPO法人の専門性が活かされた運営がされている。 |
| 市民活動の啓発 【市民協働課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市民活動センターホームページの見直しや各種の新規事業の実施など、積極的な市民活動の啓発に努めた。 |

3 取組状況や成果に関する指標

| 指標 | 実績値、推移、他自治体比較など |
|-------------|---|
| NPO 法人の認証件数 | 24 件（平成 24 年度末） つくば市：116 件、土浦市 30 件、牛久市 24 件 |
| | |
| | |

4 数値目標の達成状況

| (重点施策) 市民活動やボランティア活動に参加したことがある市民の割合 (%)【市民協働課】 | | | | | | |
|---|--|--------|--------|--------|--------|--|
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| ー→80.0 | ー | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 平成25年度から実施予定のまちづくりポイント制度や、市民活動団体立ち上げ支援制度により、市民活動への参加者増加を促進する。数値目標の達成に向けては、構築した制度を市民に十分周知する等して、実効性を高めていく。 | | | | | |
| (1) 市民活動への支援や参加できる機会に満足している市民の割合 (%)【市民協働課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 19.9→29.9 | ー | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 平成25年度から実施予定の市民活動団体立ち上げ支援制度や、まちづくりポイント制度による市民活動への参加のきっかけづくり、そして、協働事業提案制度による市民活動の支援を引き続き行っていく。 | | | | | |
| (2) 市民提案型協働事業への提案件数 (件)【市民協働課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 3→6 | 4 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 協働事業提案制度については、市広報紙等での募集に加え、希望する団体には制度説明や書類作成のアドバイスを行うなど、目標達成に向けて、市民活動団体等への積極的な働きかけを行っていくことで、提案件数の増加を図る。 | | | | | |
| (3) 行政提案型協働事業への提案件数 (件)【市民協働課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 2→5 | 0 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市が協働で実施する事業のテーマを4件、市広報紙等で募集したが団体からの応募はなかった。目標達成に向けては、事業テーマに合った活動をしている団体を探し、積極的に声かけを行っていくことで、提案件数の増加に努めていく。 | | | | | |
| (4) 市民活動センター登録団体数 (団体)【市民協働課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 50→60 | 72 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市民活動センターの運営主体を市からNPO法人に移行したことにより、NPO法人が持つノウハウや広いネットワークが生かされた結果、登録団体数が増加し目標値を達成できた。 | | | | | |
| (5) 公共施設里親制度登録団体数 (団体)【施設整備課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 68→82 | 74 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 来庁者に対し里親制度の説明を行い、企業等への個別訪問やイベントへ積極的に参加し新規の里親獲得に努めることが重要である。 | | | | | |
| (6) 市民活動センター延べ利用者数 (人)【市民協働課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 5,475→7,118 | 16,276 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市民活動センター移転により施設の規模が拡大したことや、運営主体を市からNPO法人に移行したことにより、NPO法人が持つノウハウや広いネットワークが活かされたイベントや講座の企画などによって、利用者が増加し目標値を達成できた。 | | | | | |

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

| | |
|---------------|---|
| 重点戦略 | 1 協働のまちづくりと地域力のアップ |
| まちづくり宣言（基本目標） | 2 市民みんなで考え、つくる、わかりやすいまちづくりを進めます。 |
| 宣言が目指すまちの姿 | 市民と行政が目標を共有し、共通認識のもと、共に知恵を出しあうまちづくりが実践されています。 |

1 総括

| | | |
|----------------------------|---------------------------------------|---|
| 進 捗 状 況 評 価 | B | 評価コメント |
| | | 自治基本条例の制定は、市民との議論を重視したことから作業にやや遅れが生じている。政策情報誌や市政モニター制度による情報発信や広聴活動の取り組みは順調に進んでいる。 |
| | A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要 | 今後の方向性（改善策） |
| | | 自治基本条例の策定では、市民との共通認識を深めながら議論を重視した市民主体の条例づくりを進めていく。情報発信や広聴活動では、課題を解決しながら制度の充実を目指す。 |

2 主要事業の概要

| 主要事業名【担当課】 | 実施工程進捗状況 | 取組状況と事業推進上の課題 |
|--------------------------------|--|--|
| 優先プロジェクト 自治基本条例の制定 【企画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 条例の策定にあたっては、市民の声を取り込み、議論を深めていくことが大切であるので、予定より多くの会議を開催し共通認識を図りながら、作業を進めてきたことで遅れが生じた。今後も、多くの時間を要すると思われるが、引き続き、策定プロセスと議論を重視した条例づくりを進めていく。 |
| 政策情報誌の発行 【情報政策課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 平成24年度は、5月、8月、10月、2月の計4回発行。また、市政モニター制度を活用して、政策情報誌に関するアンケートを実施。 |
| 情報発信システムの構築 【情報政策課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | SNSの活用は定着化してきたが、メール配信については登録者数伸び悩みや解約等が発生していることから、カテゴリーや発信内容の見直しが必要である。 |
| 新しい市政モニター制度の構築 【秘書広聴課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | ほぼ当初の計画通り制度を構築し、運用を開始した。今後は、各課における利用促進を図っていく。 |
| 市公式ホームページの充実と幅広い活用 【情報政策課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 毎月のホームページ作成システム操作研修会により、ホームページを作成できる職員が増えている。 |
| 市民参画の機会拡大 【秘書広聴課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 「市民活動日本一」「子育て環境日本一」の二つの分野での活動が顕著な団体を市長室に招き、提案や意見交換を行った。タウンミーティングについては、各地区において公民館などを利用して、各地区の代表者を中心に、地区運営に関する課題等について意見交換を行った。 |

3 取組状況や成果に関する指標

| 指標 | 実績値、推移、他自治体比較など |
|---------------|--|
| メール配信サービス登録者数 | 3,751人（平成24年4月） → 5,053人（平成25年2月） |
| 年間ホームページアクセス数 | 約126万件（平成24年2月） → 約134万件（平成25年2月） つくば市：約211万件、守谷市：約93万件、土浦市：約53万件、牛久市：約44万件 |

4 数値目標の達成状況

| (1) まちづくりへ気軽に参加できる機会に満足している市民の割合 (%)【市民協働課】 | | | | | | |
|---|--|--------|--------|--------|--------|--|
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 20.0⇒25.0 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 「まちづくりポイント制度」の構築により、幅広い年代での市民活動への参加が期待される。目標達成に向けては、平成25年度が制度開始となるため、市民に制度の周知を徹底させることが重要である。 | | | | | |
| (2) 市役所から発信される情報のうち、必要とする情報は得られていると感じている市民の割合 (%)【情報政策課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 72.1⇒77.1 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 現在、市からの情報発信としては、広報紙「りゅうほー」、政策情報誌「未来へ」その他ホームページやフェイスブック・ツイッター、メール配信サービスなど多様な情報発信ツールがあるので、概ね必要な情報は得られていると思われる。 | | | | | |
| (3) 行政情報メール配信登録アドレス数 (件)【情報政策課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| —⇒10,000 | 5,053 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | りゅうほー、HP、市政情報モニター等でメール配信サービスの周知は行っているが、登録者数は伸び悩んでいる。今後は高齢者等が集まる場に出向き、登録者数を増やす必要がある。また、発信情報やカテゴリーの見直しが必要。 | | | | | |
| (4) 市公式ホームページの年間アクセス件数 (件)【情報政策課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 1,141,543⇒1,484,000 | 1,341,972 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 現在月平均約12万アクセスあることから、今年度末には目標値に近いアクセス数が期待される。また、平成25年11月に市公式サイトをリニューアルすることもあり、今後アクセス数はかなり増加すると思われる。 | | | | | |
| (5) 市民と市がお互いの信頼のもと、連携・協したまちづくりが進められていると感じている市民の割合 (%)【市民協働課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 27.3⇒37.3 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市民と市が協働で実施する事業の提案を募集する「協働事業提案制度」の実施や「公共施設里親制度」等を充実させていくことにより、ベース値からの上昇が期待できる。目標達成に向けては、提案制度の応募件数を増加させていくことが重要である。 | | | | | |
| (6) 市民アンケート等の回答率 (%)【企画課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 41.6⇒50.0 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市民懇談会の開催に加え、まちづくり市民会議や無作為抽出による市民参画の検討組織の設置により、市民が市政に参画する機会が拡充され、まちづくりへの関心が高まりつつある。目標達成には、市民の市政参加の機会を保障するルールを明文化した自治基本条例の制定が不可欠である。 | | | | | |

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

| | |
|---------------|---|
| 重点戦略 | 1 協働のまちづくりと地域力のアップ |
| まちづくり宣言（基本目標） | 3 地域の力を活かした、地域が輝くまちづくりを進めます。 |
| 宣言が目指すまちの姿 | 住民自治組織を中心に、地域の多様な主体が連携し、活発な地域コミュニティ活動が展開され、地域住民が住み慣れた地域でいきいきと暮らしています。 |

1 総括

| | | |
|----------------------------|---------------------------------------|--|
| 進 捗 状 況 評 価 | B | 評価コメント |
| | | 中核的な地域コミュニティは、当初の予想を超え、平成 25 年度に 7 地区で設立される見込みであり順調であると言えるが、地域活動拠点の充実に向けた取り組みは、検討が中断している状況にある。 |
| | A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要 | 今後の方向性（改善策） |
| | | 地域コミュニティの設立準備会が設置されていない地区へは、今後も継続して話し合う場を設け、地域コミュニティ形成への理解を促進する。 |

2 主要事業の概要

| 主要事業名【担当課】 | 実施工程進捗状況 | 取組状況と事業推進上の課題 |
|---|--|--|
| 優先プロジェクト 中核的な地域コミュニティの形成 【市民協働課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 設立準備会の設置が予定を上回る 8 地区となり、平成 25 年度における地域コミュニティ設立予定が 7 地区、設立準備会設置予定が 3 地区となった。その他の地区についても、引き続き地域コミュニティ設立に向けての話し合いを行っていく。 |
| 優先プロジェクト まちづくりバンク・ポイント制度の構築 【市民協働課】（再掲） | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | まちづくりポイント制度について、ワーキンググループや市民協働推進会議において、制度内容について検討を重ね制度設計を行った。平成 25 年度は、要綱の制定、対象事業の募集及び選定、制度の周知などを行い、1 月中旬に制度を開始する予定である。 |
| 地域担当職員制度の導入 【市民協働課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 地域担当職員が地域住民と円滑なコミュニケーションを図れるよう、平成 25 年度当初は市民協働課職員がサポートする必要がある。 |
| 地域活動拠点の充実 【市民協働課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | コミュニティセンター施設の経常的修繕を適宜行うとともに、計画的に大規模改修を行った。地域集会施設整備助成制度の拡充及び空き家等を活用した地域活動拠点の設置についての検討案件は、制度概要の検討の段階でとどまっている。 |
| 新たなまちづくり補助金制度の活用促進 【市民協働課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 今年度から、地域づくり活動等の事業を補助対象とし、防犯灯の蛍光灯交換費用や地域集会施設の備品購入費などを補助対象から除外したため、前年度に比べて補助申請件数が減少した。新しい補助金制度の活用を促進するため、今後は制度の一層の周知を図る。 |
| 地域住民の意識啓発 【市民協働課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 地域コミュニティ設立準備会において、先進事例の視察研修を行い住民主体のまちづくりへの関心・理解を促進した。また、住民自治組織連絡協議会においても孤独死対策の取り組みを行っている自治会長を招き、高齢化社会におけるコミュニティ活動について講演を頂いた。 |

3 取組状況や成果に関する指標

| 指標 | 実績値, 推移, 他自治体比較など |
|----|-------------------|
| | |
| | |

4 数値目標の達成状況

| (1) 地域の人々がふれあい、交流できる機会・内容に満足している市民の割合 (%)【市民協働課】 | | | | | | |
|---|--|--------|--------|--------|--------|--|
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 23.4⇒28.4 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 単位の住民自治組織のほか、地域コミュニティ設立予定の地区においても、住民同士の交流・ふれあい事業を地域活動の原点として位置づける例は多い。特に地域コミュニティ設立により、地域団体間の連携・協力が期待できることから、これらの事業の活発化が期待できる。 | | | | | |
| (2) 地域での助け合いやボランティア活動に満足している市民の割合 (%)【市民協働課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 25.6⇒30.6 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 地域コミュニティの設立準備会において、高齢者や子どもの見守り活動や、日常生活におけるちょっとした困り事に対処する「お助け隊」活動を、地域コミュニティの取り組みの一つに位置づける例もあり、地域の助け合い・支え合いが活発になることが期待できる。 | | | | | |
| (3) 中核的な地域コミュニティ設立地区数 (地区)【市民協働課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 0⇒13 | 0 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 平成 25 年度に地域コミュニティを設立予定の地区は 7 地区であり、設立準備会設置予定の地区は 2 地区あることから、当初の想定を上回って進んでいる。設立準備会未設置の地区については、今後も話し合いを継続していく。 | | | | | |
| (4) 市民活動への支援や参加できる機会に満足している市民の割合 (%)【市民協働課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 19.9⇒29.9 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 平成 25 年度に実施を予定している、まちづくりポイント制度や市民公益活動団体立ち上げ支援制度。また、協働事業提案制度による市民活動の支援を引き続き行うことで、市民が公益活動へ参加できる機会に満足することが期待できる。 | | | | | |
| (5) 市民と市がお互いの信頼のもと、連携・協力したまちづくりが進められていると感じている市民の割合 (%)【市民協働課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 27.3⇒37.3 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市民と市が協働で実施する事業の提案を募集する「協働事業提案制度」の実施や「公共施設里親制度」等を充実させていくことにより、ベース値からの上昇が期待できる。目標達成に向けては、提案制度の応募件数を増加させていくことが重要である。 | | | | | |

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

| | |
|---------------|---|
| 重点戦略 | 2 若者・子育て世代の定住環境の創出 |
| まちづくり宣言（基本目標） | 4 子育て環境日本一を目指したまちづくりを進めます。 |
| 宣言が目指すまちの姿 | 「子どもを産み、育てるなら龍ヶ崎」と思ってもらえるような、他にはない、充実した環境の中で、子ども達や子育て世代がいきいきと暮らしています。 |

1 総括

| | | |
|--------|---------------------------------------|--|
| 進捗状況評価 | B | 評価コメント |
| | | 学童保育も含めた待機児童解消に向けた保育・預かりサービスの充実や保護者の負担軽減の取り組みは順調に進んでいる。遊びの拠点づくりや住み替え支援策の構築は、事業内容及び推進体制の整理、検討が必要。 |
| | A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要 | 今後の方向性（改善策） |
| | | 保育・預かりサービスの充実など、子育て環境の整備に向けて引き続き取り組むとともに、子育て世代の負担軽減や定住促進に向けた事業の推進に努めていく。 |

2 主要事業の概要

| 主要事業名【担当課】 | 実施工程進捗状況 | 取組状況と事業推進上の課題 |
|---|--|--|
| 優先プロジェクト 保育・預かりサービスの充実 【こども課・青少年育成課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 大宮・北文間保育所敷地への民間保育所誘致を決定し、施設整備補助金の交付決定をした。(25.8.1 開園予定) 3つの保育ルームで入所枠(学年)を拡大し、26年度以降も入所枠を拡大できるよう施設の増設を行う。 |
| 優先プロジェクト 遊びの拠点づくり 【施設整備課・青少年育成課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input checked="" type="checkbox"/> 見直しが必要 | 「遊びの拠点づくり」については、所管各課(施設整備課・青少年育成課・企画課・政策監)協議、先進地の実施状況調査の結果を踏まえ、拠点の選定及び運営については、計画の見直しを視野に検討を進めていくこととした。 |
| 出会いのサポート 【商工振興課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | マリッジサポーターとの連携を図り、市内の会場にて平成25年1月27日に婚活パーティーを実施。また、市内の参加者が少ないため、市内参加者を増やすことが課題である。 |
| 緊急時の医療体制の確保 【健康増進課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 小児救急医療輪番制での空白時間の解消が課題だが、取手市に24時間対応の「JAとりで総合医療センター」があることや、構成市町村や協力医療機関に要望が寄せられていないことから、当面は現状通りとする。 |
| たつのご育て応援の店・施設の拡充 【こども課・財政課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | たつのご育て応援店及びいばらきキッズクラブ協賛店を拡大するため、市内の事業者に対し働きかけた。また、市役所1階にキッズコーナーを設置し、施設の充実を図った。キッズクラブ協賛店となることでの負担感等を払拭し、どのように理解を求めていくかが課題である。 |
| 医療費と給食費の負担軽減 【保険年金課・学校給食センター】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 小児マルフクの対象年齢拡大について、対象となる児童生徒の保護者宛に個別勧奨の通知を配布した。給食費の負担軽減について、条例施行規則の改正及び学校教職員等への事業の周知を徹底した。今後は、私立小中学校へ通う児童生徒についても対象とするよう検討する。 |
| 相談・支援体制の充実 【健康増進課・こども課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | めばえ幼稚園及びふたば文化幼稚園の2園で食育健康教育を実施し、行政と地域が丸となって取組むきっかけとなった。今後は、市内18全園での食育健康教室の実施に向けて、マンパワー及び予算の確保が課題である。 |
| 3人っ子応援制度 【こども課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 事業実績の検証により第3子以降の出産に対する支援事業制度の効果が一定程度は認められたが、複数制度が要因となっており、本制度のみの効果とは言えない。25年度早期に今後の方向性について検討していく。 |
| 「子育て環境日本一」のアピール 【こども課・企画課】 | <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | アピールイベントとして、10月28日(日)に農業公園で開催された「秋の収穫祭」において、イクメン(写真・エピソード)コンテストを実施した。今後も、継続してアピール活動に取り組んでいく。 |
| 住み替え支援策の構築 【都市計画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 子育て世代の住み替え支援策の検討にあたり、他市町村の助成制度を調査したが、前提となる空き家や中古住宅を活用した事例が少ないため、今後さらに事例の収集と子育て世代のニーズを確認するためのアンケートを実施し、調査研究する必要がある。 |

3 取組状況や成果に関する指標

| 指標 | 実績値, 推移, 他自治体比較など |
|------------|--|
| 保育所待機児童数 | 0人 (H24.5.1) (牛久市 54人, つくば市 30人(4.1日現在), 守谷市 10人(4.1日現在)) |
| たつこの育て応援の店 | 18店 (平成23年度) → 30店 (平成24年度) |
| 小児マル福受給者数 | 6,000名(小3まで) → 7,890名(小6まで) → 9,753名(中3まで) 平成23年4月末 平成24年4月末 平成25年4月末 |

4 数値目標の達成状況

| (重点施策) 龍ヶ崎市が子育てしやすいまちと感じている市民の割合 (%) 【こども課】 | | | | | | |
|---|--|--------|--------|--------|--------|--|
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| —→80.0 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 平成24年度は医療福祉費支給制度(マル福)の対象年齢を小学6年生までの拡大などをはじめ, 子育て家庭への支援の充実を図った。今後もさらなる充実を図ることが必要である。 | | | | | |
| (1) 子どもを産み, 育てやすい施設・サービスに満足している市民の割合【21~50歳】 (%) 【こども課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 29.7→39.7 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 要保育児童受入れのための計画的な保育所整備に加え, 「さんさん館」を拠点とした様々な子育て支援事業や私立保育所による一時保育や休日保育, 病児・病後児保育など様々なニーズに対応した事業を展開しており, 今後も, ハードとソフト両面で子育て環境向上のための取り組みが必要である。 | | | | | |
| (2) 保育所の待機児童数 (人) 【こども課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 0→0 | 0 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 平成24年度に既存園の増改築により, 70人の定員増を行ったことで, 認定こども園(2)を含む10園(うち公立1)全体で1,060人定員となっている。今後, 未就学児数や要保育児童数の推移を見据えながら, 認定こども園を含む計画的な保育所整備を進めていく必要がある。 | | | | | |
| (3) 第3子以降の出生数 (人) 【こども課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 103→— | 90 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 第3子以降を出産した保護者に出産祝金を支給し, 経済的負担の軽減を図った。今後も, 広報紙やホームページ, 窓口での周知を行い対象となる世帯には漏れなく支給できるように勧奨していく。 | | | | | |
| (4) たつこの育て応援の店登録店舗数 (店舗) 【こども課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 16→40 | 30 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 店舗訪問により補助制度を含め説明し協力を依頼してきたが, 個人店の関心は低く, チェーン店は本部の意向確認が難しい現状にある。拡大の為に地道な店舗訪問が有効である。 | | | | | |
| (5) 病院・医院の数と夜間・休日などの医療サービス体制に満足している市民の割合 (%) 【健康増進課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 34.4→39.4 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 夜間・休日の救急医療体制については, 空白時間を解消すること望ましいが, 近隣に牛久愛和病院やJAとりで総合医療センターが存在すること, また, 医療機関の救急医療の空白時間に関する要望は寄せられていないため, 引き続きニーズを把握していく必要がある。 | | | | | |

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

| | |
|---------------|---|
| 重点戦略 | 2 若者・子育て世代の定住環境の創出 |
| まちづくり宣言（基本目標） | 5 心豊かな「龍の子」を地域で育てるまちづくりを進めます。 |
| 宣言が目指すまちの姿 | 学校・家庭・地域の連携のもと、健康な体、豊かな心、確かな学力を身につけた児童・生徒が育っています。 |

1 総括

| | | |
|--------|---------------------------------------|---|
| 進捗状況評価 | B | 評価コメント |
| | | 各主要事業の進捗度合いに差はあるが、概ね順調に進んでいる。一部事業に目標や行程が曖昧であったものや、数値目標の設定に苦慮したものがある。しかし、事業を進めていく上で、内容及び推進体制の整理検討をし、具体的な方向性を見出すことができた。 |
| | A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要 | 今後の方向性（改善策） |
| | | 教育委員会制度の改革、指定管理者制度の導入等、内外の情勢が大きく変化する環境の下、実施行程や数値目標を検証し見直す必要がある。また、小中学校の適正規模適正配置（長戸小）においては、方向性を示し具体的な話し合いを進める。 |

2 主要事業の概要

| 主要事業名【担当課】 | 実施工程進捗状況 | 取組状況と事業推進上の課題 |
|--|--|--|
| 優先プロジェクト 龍ヶ崎教育市民会議の開催 【学務課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 教育市民会議の構築について「龍ヶ崎市まちづくり市民会議」での意見聴取に努めた。また、他自治体の事例調査の結果を踏まえ、会議の仕組みの構築とあわせて、会議を開催する目的について検討する必要がある。 |
| 学力の向上 【指導課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 学習充実指導非常勤講師の有効活用と少人数指導の充実（担当教員との打合せ時間の確保等） 達成目標の見直し（児童や教員の意識調査に関する数値目標の設定の在り方等） |
| 学校図書の実充 【学務課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 全ての学校図書館に司書嘱託員を配置し、児童生徒に親しみやすい図書館作りを進めた。専門知識や技術を持つ司書嘱託員（有資格者）の確保が引き続きの課題である。 |
| 小中学校の適正規模適正配置 【学務課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 長戸小学校適正規模検討委員会から教育委員会宛てに提出された意見書を受け、今後は教育委員会において方向性を決め、保護者や地元への説明、統合準備会の立ち上げなど具体的な話し合い等を進めていく必要がある。 |
| 教育支援体制の充実 【教育センター】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 龍の子支援会議やサポート会議などを通して、不登校やいじめ問題、児童虐待などに対応・支援することができた。不登校率については、依然高い状況にあるので、教育相談や訪問相談など継続的な支援が必要である。 |
| 学校・家庭・地域連携による特長的な教育環境の創出 【学務課・青少年育成課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 地域・家庭・学校が連携し、子どもたちのより良い教育環境の創出に繋がる事業に取り組んだ。 子ども会育成連合会、青少年育成龍ヶ崎市民会議、保護司会等更生保護団体の事業に相互の会員が参加・交流し、活動の理解を図った。 |
| 龍・流連携事業の拡充 【指導課・企画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 各学校へ当該事業の積極的活用を推奨し、アンケート調査等も実施した。事業の活性化に向けて、アンケート調査結果で要望の多かった水泳授業の支援や学校までの学生の移動手段確保等について検討する必要がある。 |
| 特色ある学校づくり 【学務課・指導課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 達成目標である「特色ある学校づくり」の仕組みを策定させた他、留意事項書も作成し、来年度から円滑に実施できるようにした。 |

3 取組状況や成果に関する指標

| 指標 | 実績値, 推移, 他自治体比較など |
|--------------------------|---|
| 算数の計算技能（小学校6年）における正答率 | 81.5%（平成23年度） → 87.6%（平成24年度） 県学力診断のためのテスト結果より |
| 年間の学校図書1人当たりの貸し出し冊数〔小学校〕 | 49.9冊 牛久市：45.1冊，稲敷市：44.4冊，取手市，37.3冊 |
| 小中学校ボランティア派遣事業に参加した学生数 | 44人 → 61人 → 95人 （平成22年度） （平成23年度） （平成24年度） |

4 数値目標の達成状況

（1）小中学校の教育内容・施設に満足している市民の割合（%）【指導課・学務課】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|--|--------|--------|--------|--------|
| 32.1⇒37.1 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 学習充実指導非常勤講師を活用した少人数指導及びチームティーチングの展開，英語指導助手（AET）を午前・午後に配置校移動することによる効率的・効果的な運用，学校図書の充実及び読書活動の推進など，教育内容の充実に努めた。また，老朽化の進んでいる設備等を計画的に改修するとともに，平成25年度以降の城西中学校の大規模改修に向け，実施設計を行った。 | | | | |

（2）小学校の不登校率（%）【教育センター】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|--|--------|--------|--------|--------|
| 0.40⇒0.30 | 0.47 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 子どもたち同士の関わりを重視する縦割り班活動や異学年交流の推進，3歳児検診時や就学時検診時における保護者への子育て講話の実施など不登校の未然防止に取り組んできたが，目標をやや下回る結果となった。今後は幼保小のより一層の連携や子育て支援を進めていくことが必要である。 | | | | |

（3）中学校の不登校率（%）【教育センター】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|--|--------|--------|--------|--------|
| 1.94⇒1.94 | 2.84 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 学校間の交流を進める小中連携事業や構成的グループエンカウンターなどの好ましい人間関係づくりに取り組んできたが，継続的な不登校生徒が多く見られた。今後は，生徒相互の信頼関係を一層育むとともに，生徒に自己存在感や自己有用感を与える計画的な取組が必要である。 | | | | |

（4）学校図書の1人当たりの貸し出し冊数〔小学校〕（冊/年）【学務課】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|--|--------|--------|--------|--------|
| 43.8⇒50.0 | 49.9 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 目標値の50冊には達しなかったが，23年度実績より貸し出し冊数は増加した。学校によって差があるため，引き続き読書活動の推進を働きかける。 | | | | |

（5）学校図書の1人当たりの貸し出し冊数〔中学校〕（冊/年）【学務課】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|--|--------|--------|--------|--------|
| 25.9⇒30.0 | 24.4 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 図書の入替えが進んだことで，中学生の貸し出し冊数はピーク時より若干の減少傾向にある。30冊という目標値は，1か月に2.5冊の読書量となり，中学校においては達成が難しいと考えられる。 | | | | |

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

| | |
|---------------|--|
| 重点戦略 | 3 まちの活性化と知名度のアップ |
| まちづくり宣言（基本目標） | 6 豊かな自然・地域資源を活かしたまちづくりを進めます。 |
| 宣言が目指すまちの姿 | 一人ひとりが、龍ヶ崎が持つ魅力や資源を認識し、愛着と誇りを持って全国に発信・PRしています。 |

1 総括

| | | |
|----------------------------|---------------------------------------|---|
| 進 捗 状 況 評 価 | C | 評価コメント |
| | | 道の駅の誘致や牛久沼の有効活用については、方針を定めることが重要な事業であり、そのコンセプトやビジョンについて継続的な協議・検討を行っているため、作業に遅れが生じている。 |
| | A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要 | 今後の方向性（改善策） |
| | | 方針決定が重要となる事業については、協議・検討を継続し、コンセプト等を決定していく。また、龍ヶ崎ブランドアクションプランについては、25年度より戦略会議を設置して26年度に策定を目指す。 |

2 主要事業の概要

| 主要事業名【担当課】 | 実施工程進捗状況 | 取組状況と事業推進上の課題 |
|---|--|--|
| 優先プロジェクト グリーンツーリズム・アグリツーリズムの展開 【まちづくり推進課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 行政提案型協働事業への提案を行った。現状調査を行いニーズにあった事業計画及び実施母体を組織し、体験型ツアーの企画・立案を行う必要がある。 |
| 道の駅の誘致 【まちづくり推進課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 新都市拠点開発プロジェクトと連携し施設コンセプト、場所等の検討を実施した。継続的な検討が必要である。 |
| 牛久沼の有効活用 【都市計画課・まちづくり推進課・企画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市観光協会を中心に様々な団体の協力を得て、イベントの実施や牛久沼水辺公園の環境整備に努めた。牛久沼活用ビジョンはH25年度、施設等整備計画はH26年度での取りまとめる見通しとなり、それに伴い事業実施年度も工程表より遅れる見込みである。 |
| まちの探訪モデルコースの設定 【まちづくり推進課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 観光協会企画部においては、市公式マスコットキャラクターの作成業務が中心であったため、今後モデルコースの設定について協議していく予定である。また牛久沼の有効活用の中で、実施したウォーキングイベントの結果などもモデルコース設定の参考とする。 |
| フィルムコミッションの推進 【まちづくり推進課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | いばらきフィルムコミッションや県南・県西地域のフィルムコミッションとの連携を始め、ホームページの定期的な更新など龍ヶ崎FC（フィルムコミッション）の積極的なPRを行った。今後、事業を推進していく上では、専門的な人員の確保が課題となってくる。 |
| 龍ヶ崎ブランドアクションプランの策定・実行 【まちづくり推進課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 来年度より策定する「龍ヶ崎ブランドアクションプラン」の事前調査として、事例調査、地域資源および認知度調査を実施した。 |

3 取組状況や成果に関する指標

| 指標 | 実績値、推移、他自治体比較など |
|--------------------|---|
| フィルムコミッション 撮影実績 | 12件（平成22年度） → 15件（平成24年度） つくば市：81件、石岡市：29件、土浦市：27件 |
| | |

4 数値目標の達成状況

| (1) 見どころ・楽しみどこの発掘など観光の振興に満足している市民の割合 (%) 【まちづくり推進課】 | | | | | | |
|---|--|--------|--------|--------|--------|--|
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 11.6⇒16.6 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 当市を代表する観光資源の「牛久沼の有効活用」や「まちの探訪モデルコース」の設定など地域資源を有効活用した施策の推進が必須となる。また、当市の知名度アップやイメージアップの施策としては「龍ヶ崎ブランドアクションプラン策定・実行」が最重要となってくる。 | | | | | |
| (2) 市の良いところ、好きなどころとして「豊かな自然がある」と回答した市民の割合 (%) 【都市計画課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 55.1⇒60.1 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 牛久沼については、課題整理等のみで具体的な事業化に至っておらず、目標達成には、茨城県や流域自治体など関係機関等と合意形成を図りながら、事業調整を進めることが必要である。 | | | | | |
| (3) 市の良いところ、好きなどころとして「歴史と伝統がある」と回答した市民の割合 (%) 【まちづくり推進課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 15.1⇒20.1 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 撞舞や八坂祭礼などの当市を代表する伝統行事については、更なる周知活動を行っていくことが重要である。また、歴史的な価値のある建造物についても同様であるが、主要事業となっている「まちの探訪モデルコースの設定」に観光スポットとして組み込み、更なる周知を図る。 | | | | | |
| (4) フィルムコミッション撮影件数 (件) 【まちづくり推進課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 12⇒20 | 15 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | いばらきフィルムコミッション等との連携やホームページの積極的な更新による情報提供などを行うことにより、龍ヶ崎FCのPRを継続的に行っていくことが重要となる。 | | | | | |
| (5) まちづくりへ気軽に参加できる機会に満足している市民の割合 (%) 【市民協働課】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 20.0⇒25.0 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市民一人ひとりが地域や行政に対して関心を持ち、理解を深め、まちづくりの担い手として市民公益活動や市が進める重点事業などへの協力や参加を促進させることを目的とした「まちづくりポイント制度」を構築したことにより、幅広い年齢層へ参加の機会を提供することが期待できる。目標達成に向けては、平成25年度が制度開始となるため、市民に制度の周知を徹底させることが重要である。 | | | | | |

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

| | |
|---------------|---|
| 重点戦略 | 3 まちの活性化と知名度のアップ |
| まちづくり宣言（基本目標） | 7 元気を生み出す活力ある産業が育つまちづくりを進めます。 |
| 宣言が目指すまちの姿 | 地域産業が活性化し、そこに雇用が生まれ、市民の元気とまち全体の元気につながっています。 |

1 総括

| | | |
|----------------------------|---|---|
| 進 捗 状 況 評 価 | B | 評価コメント |
| | | 農業分野の取り組みは、エコファーマーの推進に若干の遅れがあるものの概ね順調に進んでいる。企業誘致は未利用地が限定的なことなどから遅れているが、既存企業や起業者の支援制度構築は行程通り進んでいる。 |
| | | 今後の方向性（改善策） |
| | | エコファーマーの取得推進に向けた方策を再検討するとともに企業誘致の敵地について関係機関との協議を進めていく。新たな商業拠点形成では、開発に向けた法的課題の解決に向けた検討を進めていく。 |

2 主要事業の概要

| 主要事業名【担当課】 | 実施工程進捗状況 | 取組状況と事業推進上の課題 |
|--------------------------------------|--|--|
| 農産物の龍ヶ崎ブランド認定制度の構築 【まちづくり推進課・農政課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 農産物の認定基準等を検討する農産物ブランド認定制度検討委員会を12月に設立した。ブランド候補である特別栽培米の普及促進に取り組み、24年度学校給食用については、予定数を大幅に上回る量を袋確保した。 |
| エコファーマーの推進 【農政課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 関係機関と連携してエコファーマー技術（環境にやさしい農業の取り組み）の周知には努めたものの、エコファーマーの新規認定には至らなかった。今後も定期的に農家を訪問し、認定取得の推進に努める。 |
| 直売の場の拡大 【農政課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 目標を上回る直売の機会を提供できた。定着化した日曜朝市やさい村の更なる来場者数の増加をねらい、定期的なチラシ配布等の周知が効果的であったことから、今後も定期的な周知に努めていく。 |
| 農業体験の拡大 【農政課・まちづくり推進課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 小学生を対象とした農業体験による食育教育や小学生の親子を対象とした地域特産物を使ったお弁当とお菓子作りを実施。まちづくり・文化財団や市内農家が実施している事業の現状調査を実施した。 |
| 新たな商業拠点の形成 【都市計画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | プロジェクト会議を定期的開催し調査研究を進めるとともに、促進会議を開催し土地利用促進調査を踏まえた調査報告書を取りまとめた。なお、土地利用促進調査や法的手続きについて、県より新たな課題が示され、その課題解決が先行しなければ具体的に進んでいけない。 |
| 企業誘致の推進 【商工振興課・都市計画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | つくばの里工業団地運営協議会への未利用地の状況説明や、UR都市機構と販売情報等の情報交換などの定期的な協議及び企業への訪問、不動産業者との連携を図ってきたが、企業誘致にいたっていない。 |
| 既存企業の支援 【商工振興課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | つくばの里工業団地運営協議会を通じ各企業へ奨励金制度を説明した。自治・振興金融事業資金斡旋制度についても市公式ホームページへの掲載や商工会と連携した窓口でのパンフレットの配備などで周知を図った。今後は、工場増設などの支援として工場立地法による緑地率の緩和について調査していきたい。 |
| 起業家支援 【商工振興課・農政課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 起業家支援制度案をまとめ政策推進会議で協議した。制度実施に際しては、制度内容の十分な説明と効果的な周知方法について検討する必要がある。 8月、12月に研修会を開催し制度の周知に努めた。 |

3 取組状況や成果に関する指標

| 指標 | 実績値, 推移, 他自治体比較など |
|-------------|--|
| 特別栽培米作付面積 | 71ha (平成 22 年度) → 92ha (平成 24 年度) つくば市: 351ha, つくばみらい市: 176ha, 稲敷市: 111ha |
| エコファーマー取得者数 | 68 人 (平成 22 年度) → 70 人 (平成 24 年度) |

4 数値目標の達成状況

| (1) 農業後継者の育成など農業の振興に満足している市民の割合 (%) 【農政課】 | | | | | |
|---|--|--------|--------|--------|--------|
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 5.8⇒10.8 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | これまで新規就農者は年間1～2名の状況であったが、平成 24 年度は新たに6名の就農者があった。一方、これまでの担い手が高齢化により規模縮小や離農をする傾向が伺えることから、農産物のブランド化を構築し内外に魅力ある農業をアピールする必要がある。 | | | | |
| (2) 龍ヶ崎市の良いところ, 好きなところとして「買い物などの日常生活が便利である」と回答した市民の割合 (%) 【商工振興課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 30.8⇒35.8 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 当市には大きな市街地が 4 箇所(龍ヶ崎地区, 佐貴地区, 北竜台地区, 龍ヶ岡地区)あり, 各市街地に合った生活スタイルや買い物弱者等の利便性向上に寄与するような商業環境が必要であると考えられる。 | | | | |
| (3) エコファーマー取得者数 (人) 【農政課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 68⇒100 | 70 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 関係機関と連携しながら周知を行い, エコファーマー取得者の更新は行っているが, 新規でのエコファーマー取得者を増加することが難しい。 | | | | |
| (4) 直売所平均出店農家数 (件) 【農政課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 15⇒25 | 18 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | にぎわい広場で行われている月2回の販売イベントの他に, たつこのマルシェでの販売も増え, 生産農家の参加は増加傾向にある。 | | | | |
| (5) 特別栽培米作付面積 (ha) 【農政課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 71⇒100 | 92 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 平成 25 年度にブランド認定制度検討委員会を立ち上げ, 付加価値の高い特別栽培米の作付け面積の拡大を図る。 | | | | |

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

| | |
|---------------|--|
| 重点戦略 | 3 まちの活性化と知名度のアップ |
| まちづくり宣言（基本目標） | 8 大学のあるまちのメリットを活かした特色あるまちづくりを進めます。 |
| 宣言が目指すまちの姿 | 市民が大学を身近に感じ、大学（学生）との活発な交流が展開され、まちと大学の活性化につながっています。 |

1 総括

| | | |
|----------------------------|---------------------------------------|---|
| 進 捗 状 況 評 価 | B | 評価コメント |
| | | 各主要事業の進捗は全体的に概ね順調である。数値目標については既に目標を達成した項目がある一方で、アンケート結果により評価する項目もあり、評価を断定することはできないが、関連の取組状況等を考慮すると、現時点においては実工程内での目標達成が見込められていると考えられる。 |
| | | 今後の方向性（改善策） |
| | A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要 | 施策推進に向けては、平成 24 年度の取組みを継続していきながら、認知度向上のための新たな情報発信手段の構築していくことが肝要である。また、事業の進捗が遅れている「企業との連携体制の構築」や「学生割引サービスの拡大」について、重点的に取り組む必要がある。 |

2 主要事業の概要

| 主要事業名【担当課】 | 実工程進捗状況 | 取組状況と事業推進上の課題 |
|---------------------------|--|--|
| 龍・流連携事業に関する情報の発信【企画課】 | <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 達成目標として掲げた龍・流連携公式サイトのリニューアルを完了させた他、庁舎正面玄関や大学等に設置の龍・流連携掲示板を活用し、定期的かつタイムリーな情報発信を行った。認知度向上に向けては、新たな情報発信手段についての検討も重要である。 |
| 市民大学講座の充実【企画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市制モニター制度を活用したアンケート調査や子育て講座の新規開講等、今年度に予定した取組の全てを実施した。施策推進に向けては、子育て講座をシリーズ化し、継続して開講していくとともに、コミュニティセンターウォーキング講座のような大学にもメリットの高い講座を新規開講していくことが必要である。 |
| 大学運動部のバックアップ【企画課・スポーツ振興課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | まちの応援団との連携体制の構築や各運動部の試合日程の情報提供、関東大学ラグビーリーグ戦応援バスツアーの開催等、今年度に予定した取組の全てを実施した。施策推進に向けては、まちの応援団の会員数増加への支援やラグビー以外の運動部の応援ツアー開催について大学と協議していくことが必要である。 |
| 学生割引サービスの拡大【企画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 広報紙や公式サイトでの協力店募集、学生割引パンフレット・ポスターの配布・掲示を行った他、来年度実施の学生アンケート調査について、大学と協議し、了解を得ることができた。協力店増加に向けては、周知強化に加え、協力店からの応募を待つだけでなく、市から積極的にアプローチしていくことが必要である。 |
| 大学国際観光学科との連携【まちづくり推進課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 現在、取り組んでいる「龍ヶ崎市ブランド戦略策定支援業務」の中で、来年度、設置する戦略会議にメンバーとして参画していただくため、2名の教授及びゼミの学生と龍ヶ崎市の観光資源について視察、研修を行なった。 |
| 保育分野での連携【青少年育成課・こども課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | スポーツ健康科学部の学生による保育ルーム児童に対する遊びを取り入れたスポーツ指導を実施した。大学と保育所との事業連携に加え、大学より実習生を積極的に受け入れるなど保育士養成への協力や卒業生が地域の保育所に就労する環境を整備することで保育士不足に対応するなど、更なる連携を進めていく必要がある。 |
| 企業等との連携体制の構築【企画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 産学官連携の仕組みづくりに向けた協議の場の設置を目指したが、関係者への趣旨説明にとどまり具体的な取り組みができなかった。今後は、流通経済大学生の地元雇用の場の確保を連携のテーマと位置づけた作業計画を作成し、市・大学・企業の協議の場設置に向けた取り組みを進めていく必要がある。 |

3 取組状況や成果に関する指標

| 指標 | 実績値, 推移, 他自治体比較など |
|------------------|---|
| 市民の龍・流連携の認知度 | 51.4% (市政モニターへのアンケート調査での結果) 38.8% (平成22年度実施のまちづくり市民アンケートでの結果) |
| 龍・流連携公式サイトのアクセス数 | 2,835 アクセス (平成23年10月~平成24年3月・旧サイト) → 3,640 アクセス (平成24年10月~平成25年3月) |
| 市民大学講座の受講人数 | 128人 (平成23年度実績) → 248人 (平成24年度実績) |

4 数値目標の達成状況

(1) 市民の龍・流連携の認知度 (%) 【企画課】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|---|--------|--------|--------|--------|
| 38.8⇒43.8 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市政モニターへのアンケートで得られた認知度51.4%という結果や新・旧の公式サイトアクセス数の比較等を考慮すると、ベース値からの上昇が期待できる。目標達成に向けては、リニューアルした公式サイトや掲示板を最大限活用していく他、新たな情報発信手段についての検討も重要である。 | | | | |

(2) 龍・流連携事業や大学のイベント、スポーツ応援、公開講座等に参加したことがある市民の割合 (%) 【企画課】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|---|--------|--------|--------|--------|
| 14.0⇒19.0 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 英会話講座の年2回開講や子育て支援講座の新規開講の他、応援バスツアーの参加募集人数を例年の倍にしたこと等によりベース値からの上昇が期待できる。目標達成に向けては、大学と調整を図り、上記アンケート結果を考慮した市民ニーズの高い講座・イベントの開催が重要である。 | | | | |

(3) 学生の龍・流連携の認知度 (%) 【企画課】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|--|--------|--------|--------|--------|
| 19.5⇒25.0 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 学生への学割サービスパンフレットの配布、大学構内や学生寮にある掲示板への学割サービスポスターの掲示等によりベース値からの上昇が期待できる。目標達成に向けては、学割サービス協力店を増加させていく他、ボランティア派遣学生の増加を図っていくことも重要である。 | | | | |

(4) 小中学校ボランティア派遣事業に参加した学生数 (人) 【企画課】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|---|--------|--------|--------|--------|
| 44⇒70 | 95 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 事業活性化に向けて、大学関係部署との協議を重ねてきた成果として、各小中学校から大学への支援要望という既存の仕組みに加え、大学側からも支援メニューを各小中学校へ提案する新たな仕組みを構築できたことが目標達成の要因。現状値の一層の上昇に向けて、今後も大学との連携強化を図る。 | | | | |

(5) 学生割引サービス協力店数 (店) 【企画課】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|---|--------|--------|--------|--------|
| 56⇒80 | 61 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 目標とする5店舗を増加できたが、既協力店2店舗の廃業等により、結果として増加が3店舗に留まった。来年度に実施する学生アンケートで学生ニーズを把握し、それらを考慮しながらサービス業種の拡大を図るとともに、継続した広報紙での募集の他、地道な協力依頼活動を行っていく。 | | | | |

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

| | |
|---------------|--|
| 重点戦略 | 3 まちの活性化と知名度のアップ |
| まちづくり宣言（基本目標） | 9 環境先進都市を目指したまちづくりを進めます。 |
| 宣言が目指すまちの姿 | 市民・事業者・行政が協力して、低炭素社会・循環型社会の構築のために積極的に取り組み、自然・人にやさしい「環境先進都市・龍ヶ崎」を実現しています。 |

1 総括

| | | |
|--------|---------------------------------------|---|
| 進捗状況評価 | B | 評価コメント |
| | | 各種啓発活動に加え、太陽光発電システム補助、ダンボールコンポスト、N.O!ポイサポーターの創設など新たな事業実施などにより、低炭素社会・循環型社会の構築に向け、概ね順調に事業展開をしている。 |
| | A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要 | 今後の方向性（改善策） |
| | | 今後も事業の継続を図ることにより、市民や事業者に対して環境意識の向上を図っていく。また、一部事業については、先進事例などを研究しながら内容の見直しや検討を行い、事業の充実を図っていく。 |

2 主要事業の概要

| 主要事業名【担当課】 | 実施工程進捗状況 | 取組状況と事業推進上の課題 |
|---|--|---|
| 優先プロジェクト 自然エネルギーの利用促進 【財政課・環境対策課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 広報紙やホームページなど、様々な広報媒体を通じて補助制度の周知を行った。現在、太陽光発電システムや高効率給湯器の価格が低下傾向にあるため、今後、補助金の額や募集枠の設定の検討が必要である。 |
| 高効率照明（LED）の普及促進 【財政課・環境対策課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 本庁舎1階にLED照明を設置するとともに、広報紙やホームページ等でその普及を促進し、消費電力の削減に努めた。LED照明については、近年急速に普及が進んでいる技術のため、性能の向上や価格の変動が大きく、また、JIS規格の統一に向けた動きが出てきていることから、導入時期については更に検討が必要である。 |
| バイオマス利用の拡大 【環境対策課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input checked="" type="checkbox"/> 見直しが必要 | バイオディーゼル燃料に適合する車両はトラックなど4台あるが、車両の保守費用の増加や燃料の安定確保が難しいことなどから、今後の事業拡大は難しい。 |
| 生ごみ減量の推進 【環境対策課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 水切りやダンボールコンポストなど生ごみの自家処理の促進を中心に、様々な機会を通じて生ごみ減量への協力を呼びかけた結果、家庭系燃やすごみに占める生ごみの割合は減少した。ひと手間など一定の負担が必要なこともあり、その取り組みがなかなか浸透せず、依然その割合は3割を超えている。 |
| 地域リサイクル事業の充実 【環境対策課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 様々な機会を通じて、分別の徹底をはじめとするリサイクルへの協力を呼びかけ、市民のリサイクル意識は定着しているものと考えている。そのような中で、年々、資源物回収量が減っていることについては、民間による資源回収体制の進展に伴って、資源物を排出する機会が増えてきていることも大きな要因であると捉えている。 |
| クリーンプロジェクト 【環境対策課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 様々な機会を通じて、『No!ポイサポーター』の周知活動を行い、目標とする200名を超える登録者を確保することができた。今後、登録者の活動状況の把握に努め、活動の活性化に取り組んでいく。 |

3 取組状況や成果に関する指標

| 指標 | 実績値、推移、他自治体比較など |
|-------------------------|--|
| バイオディーゼル燃料使用による二酸化炭素削減量 | 龍ヶ崎市：21.5トン、牛久市：142.4トン、土浦市：2.2トン 阿見町：4.8トン |
| 市民一人が1日に出すごみの量（家庭系ごみ） | 龍ヶ崎市：682グラム、牛久市：629グラム、土浦市：821グラム、 取手市：824グラム、守谷市：623グラム、稲敷市：670グラム |
| ごみの総資源化率 | 龍ヶ崎市：14.9%、牛久市：24.7%、土浦市：11.3%、 取手市：17.6%、守谷市：16.5%、稲敷市：8.0% |

4 数値目標の達成状況

| (1) ごみ収集サービスや資源リサイクルに満足している市民の割合 (%)【環境対策課】 | | | | | |
|---|--|--------|--------|--------|--------|
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 74.1⇒79.1 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 安定したごみ収集を行うとともに、サンデーリサイクルをはじめとする資源物の回収機会を確保することで、一定の市民の満足度は得られている。 | | | | |
| (2) 地域をきれいにする活動や公衆衛生に満足している市民の割合 (%)【環境対策課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 49.2⇒54.2 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 広報紙やホームページ、『No!ポイサポーター』制度による周知活動を行い、環境美化に取り組んでいるが、未だに犬のふんの放置やたばこの吸殻がポイ捨てされている箇所が見受けられる。全体として、マイナスとなる部分の解消が図れないと、目標達成は困難と予想される。 | | | | |
| (3) 市民一人が1日に出すごみの量(家庭系ごみ)(g)【環境対策課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 649⇒550 | 682 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 災害に起因するごみがいまだに出されていることにより、ごみの量が増えていると推測される。引き続き、ごみやリサイクルの現状を広報紙やホームページ、啓発イベントなどにより周知することで、市民のごみに対する意識の醸成に努める。 | | | | |
| (4) ごみの資源化率 (%)【環境対策課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 16.1⇒22.0 | 14.9 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 資源物の回収量が減少傾向にあり、一方でごみの排出量は増加傾向である状況から、資源化率は落ち込むものと予想できる。新聞販売店や食料品スーパーでの資源物回収体制の確立により、相当量の資源物が回収されていることから、市民のリサイクル意識は保たれている。 | | | | |
| (5) BDF 燃料使用による CO2 削減量 (kg)【環境対策課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 5,346⇒8,910 | 21,490 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input checked="" type="checkbox"/> 見直しが必要 | バイオディーゼル燃料を使用することによる車両の不具合など、バイオディーゼル燃料が適合する車両の確保が難しくなっている。 | | | | |
| (6) LED を導入した主な公共施設数 (件)【財政課・環境対策課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 1⇒6 | 2 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 平成 24 年度本庁舎 1F ホールの照明を LED 照明に転換。(68 箇所) 平成 25 年度はたつのごアリーナの一部照明を LED 照明に転換予定しており、今後も順次整備していくことが望ましい。 | | | | |

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

| | |
|---------------|---|
| 重点戦略 | 4 安心と住みよさが実感できる生活環境づくり |
| まちづくり宣言（基本目標） | 10 安心安全が実感できるまちづくりを進めます。 |
| 宣言が目指すまちの姿 | 行政の総合的な防災体制と地域における防災・防犯体制が整備され、安心して暮らせるまちになっています。 |

1 総括

| | | |
|----------------------------|---|---|
| 進 捗 状 況 評 価 | B | 評価コメント |
| | | 防災体制の整備うち、被災者支援システムの構築や要援護者避難支援の充実など行政の体制整備については概ね順調な取り組みであったが、自主防災組織の結成や防災知識の普及など地域における防災体制整備が遅れている。 |
| | | 今後の方向性（改善策） |
| | | 地域における自主防災組織の結成や防災訓練の実施については、引き続き働きかけを行い、組織結成率の向上及び既存組織の活性化に努めていく。市民に対して、防災の手引きを配布するなど、防災知識の普及に取り組む。 |

2 主要事業の概要

| 主要事業名【担当課】 | 実施工程進捗状況 | 取組状況と事業推進上の課題 |
|--------------------------------------|--|---|
| 優先プロジェクト 地域における防災訓練の充実 【危機管理室】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 自主防災組織未結成地区への説明会等、結成促進を図ったが1組織の結成にとどまった。今後も粘り強く自治組織への働きかけをしていく必要がある。防災士資格の取得助成に努めた結果、22名を養成した。 |
| 地域防災計画や防災関連マニュアルの見直し 【危機管理室】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 地域防災計画と業務継続計画の整備を優先的に進め、計画を具現化するための防災対策基本条例も策定した。避難所運営マニュアルの素案等は作成したが、災害対策本部の各対策班の個別マニュアルは未着手となった。 |
| 情報伝達体系の強化 【危機管理室】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | MCA無線の導入は完了したが、日常業務での使用による機器操作訓練等が必要である。メール配信やツイッター・フェイスブック等での情報伝達は随時更新したが、ブログの開設までには至らなかった。 |
| 被災者支援システムの構築 【情報政策課・危機管理室】 | <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 地図情報を利用しての情報収集・発信（ツイートマップ）機能も兼ね備えたクラウド型被災者支援システムを構築した。 |
| 災害備蓄の充実と災害援助協定等の拡大 【危機管理室】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 食糧品・飲料水等は長期保存が可能なものへ更新しているが、幼児用のミルク等の賞味期限が短いものについても備蓄の検討が必要である。平成24年度に予定されていた災害協定は、全て締結することができた。 |
| 災害時の要援護者避難支援 【社会福祉課・高齢福祉課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 2月末までに災害時の支援者を決定できた地区は、選定を依頼した住民自治組織133地区のうち75地区であった。残りの地区については、引き続き働きかけを行う。今後、支援者が決定された地区をいかに増やすかが課題である。 |
| 防災知識の普及 【危機管理室】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 災害発生時の市民の行動や災害ハザードマップや各種防災情報を記載した「防災の手引き」を作成したが、地域防災計画との整合性を図るため、印刷完了が年度末となり、市民への配布が次年度に繰り越したとなった。 |
| 地域防犯活動の充実 【危機管理室】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 警察署からの情報提供を活用した防犯パトロールの実施などにより地域での防犯活動の促進が図られている。一方で、更なるパトロール強化のため、防犯サポーターの複数配置が課題となっている。 |

3 取組状況や成果に関する指標

| 指標 | 実績値, 推移, 他自治体比較など |
|-------------------------|--|
| 自主防災組織結成率 | 87.3% (平成 25 年 3 月 22 日現在) 県平均 61.6%・全国平均 77.4% (平成 24 年 4 月 1 日) |
| 地域における防災訓練実施数 | 26回 (55組織) → 31回 (72組織) 平成 23 年度 平成 24 年度 |
| 県外地方自治体との災害時応援協定締結数 (件) | 4件 取手市: 5 件, 土浦市: 4 件, 牛久市: 3 件, つくば市: 2 件, 守谷市: 2 件, つくばみらい市: 2 件, |

4 数値目標の達成状況

| (1) 台風や地震など自然災害への対策に満足している市民の割合 (%)【危機管理室】 | | | | | | |
|---|---|--------|--------|--------|--------|--|
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 31.6⇒36.6 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 主な事業として東日本大震災の教訓を踏まえ、龍ヶ崎市地域防災計画（地震災害対策計画編）の全面見直しを行った。さらに、全コミュニティセンターへの「災害用井戸」設置や全世帯に災害時にあわてず冷静な行動がとれるように「防災の手引き」を配布した。これらのことより、ベース値からの上昇が期待できる。今後も、地域防災計画の対策実行に向けた取組が必要である。 | | | | | |
| (2) 犯罪や非行防止などの治安対策に満足している市民の割合 (%)【危機管理室】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 25.8⇒30.8 | — | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 月 1 回の HBS 運営委員会に加え、昨年度よりさらに拡大して参加を呼びかけた拡大運営委員会を開催したことで、地域の意向を反映した防犯活動が行われていることや、人目を引くような防犯キャンペーンを行うことで、より多くの方々の防犯意識の高揚が図られたことにより、ベース値からの上昇が期待できる。目標達成のためには、防犯パトロール時の防犯サポーターの増員等、更なる防犯パトロール強化の検討が重要である。 | | | | | |
| (3) 災害援助協定等の自治体との締結数 (件)【危機管理室】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 1⇒3 | 4 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 相互応援協定であり、龍ヶ崎市が応援することも視野に入れながら締結先との距離や財政規模等で当市と同等以上の自治体との締結を進めていく。また、合わせて民間事業者との協定締結を進めていく。 | | | | | |
| (4) 自主防災組織結成率 (%)【危機管理室】 | | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 | |
| 85.6⇒100 | 87.3 | | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 未結成地区への説明会を行ったことで、1 組織結成できたが 1 組織の解散があり総数に変動はなかった。今後も、説明会等の機会を設け設立を促していくこととするが、現在未設立の地区には設立に至らない事情があると考えられることから、その検証も必要である。 | | | | | |

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

| | |
|---------------|--|
| 重点戦略 | 4 安心と住みよさが実感できる生活環境づくり |
| まちづくり宣言（基本目標） | 11 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めます。 |
| 宣言が目指すまちの姿 | 年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らすことができる環境が整っています。 |

1 総括

| | | |
|----------------------------|---|--|
| 進 捗 状 況 評 価 | B | 評価コメント |
| | | 高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活するための環境の充実については、概ね順調な取り組みであった。しかし、障がい児保育での負担軽減などでは、県との調整が必要なことから遅れが生じている。 |
| | | 今後の方向性（改善策） |
| | | 高齢者の居場所づくりは、空家等を活用した地域活動拠点の充実と併せて検討を進めていく。身近な買い物環境の充実に向けては、調査結果を踏まえ、PRの徹底など、引き続き事業の推進に努めていく。 |

2 主要事業の概要

| 主要事業名【担当課】 | 実施工程進捗状況 | 取組状況と事業推進上の課題 |
|---|--|---|
| 優先プロジェクト 高齢者向け市内公共交通定期券の発行 【都市計画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市民ニーズを収集・検証するためのアンケート調査を実施し、この結果をもとに、地域公共交通会議において、当面は現行のコミュニティバスをみの定期券で運用し、今後の利用状況とニーズ等をさらに検証し拡大を図っていくことで事業方針を決定した。 |
| 災害時の要援護者避難支援 【社会福祉課・高齢福祉課】 (再掲) | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 2月末までに災害時の支援者を決定できた地区は、選定を依頼した住民自治組織 133 地区のうち 75 地区であった。残りの地区については、引き続き働きかけを行う。今後、支援者が決定された地区をいかに増やすかが課題である。 |
| 身近な買い物環境の充実 【商工振興課・高齢福祉課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市広報紙及び市公式ホームページに市内宅配サービスリストを掲載し、掲載店舗及び利用者に対する利用状況等調査と、市内一人暮らし高齢者に対し買い物環境に関するアンケートを実施した。調査結果を踏まえ、PRの充実と新規店舗の募集を行い、掲載店舗数の増加を図った。 |
| まちづくりバンク・ポイント制度の構築 【市民協働課】 (再掲) | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | まちづくりポイント制度について、ワーキンググループや市民協働推進会議において、制度内容について検討を重ね制度設計を行った。平成 25 年度は、要綱の制定、対象事業の募集及び選定、制度の周知などを行い、1月中旬に制度を開始する予定である。 |
| 高齢者の居場所づくり 【高齢福祉課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 家賃支援の制度設計に基づき、活動組織に対する支援内容について取りまとめた。いかにしたら高齢者が主体となって居場所づくりを活用できるかの検討が課題である。 |
| 高齢者の健康づくりの推進 【健康増進課・高齢福祉課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 元気アップ運動講座の目標は達成できたが、自主活動支援策に基づき、指導マニュアルを活用していけるよう普及員の研修の充実が必要である。シルバーリハビリ体操指導士養成講座修了者を活動につなげるためのフォローアップが必要。介護予防講座については、開催場所確保のための調整が必要である。 |
| 障害福祉サービス提供と障がい者家族の負担軽減 【社会福祉課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 既存事業は、継続して行われている。重症心身障害者の短期入所事業は2月にサービス事業の指定を受けることができた。なお、美浦特別支援学校を活用した障がい児保育について、構成市町村で協議を行ってきたが、学校側から当該事業での施設使用できないことが報告されたことから事業実施は困難な状況である。 |
| 緊急時の医療体制の確保 【健康増進課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 稲敷地域病院群輪番制及び市内医療機関による休日緊急診療当番医制により、休日や夜間における救急患者に対応した。両制度とも順調に運営されている。 |

3 取組状況や成果に関する指標

| 指標 | 実績値, 推移, 他自治体比較など |
|----------------------------|-------------------------------------|
| 市内宅配サービスリスト 掲載店舗数 | 21 店舗 (平成 23 年度) → 28 店舗 (平成 24 年度) |
| 災害時要援護者避難支援 個別プランの作成希望者 | 18.0% (平成 23 年度) → 25.6% (平成 24 年度) |
| | |

4 数値目標の達成状況

(1) お年寄りが生活しやすい施設・サービスに満足している市民の割合 (%)【高齢福祉課】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|---|--------|--------|--------|--------|
| 18.3⇒23.3 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 要援護者避難支援の体制整備など、高齢者福祉施策については、目標値に向けた取り組みを進めているところでありベース値からの上昇が期待できる。目標達成に向けては、引き続き関係各課と連携を図ったうえで、事業展開を行い、市民サービスの向上に努めていく。 | | | | |

(2) 障がいのある人が生活しやすい施設・サービスに満足している市民の割合 (%)【社会福祉課】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|---|--------|--------|--------|--------|
| 11.6⇒16.6 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 既存の事業は継続して実施されていることから、一定の成果は得られている。しかし、重症心身障害者の短期入所事業を行うにあたり必要となる都市計画法(変更)申請が必要となるため働き掛けを実施する。美浦特別支援学校を活用した障がい児保育については、学校施設の使用ができないことから事業実施は困難な状況である。 | | | | |

(3) 健康診査などの受けやすさや健康づくりのしやすさに満足している市民の割合 (%)【健康増進課】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|--|--------|--------|--------|--------|
| 43.7⇒48.7 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 健康診査の受診者を増やすために保険年金課や社会福祉課と連携を図り、がん検診や生活習慣病健康診査のチラシを配布し受診勧奨を行ったところ、肺がん検診240人、胃がん検診200人、特定健康診査250人、乳がん検診150人の受診者の増加がみられた。 | | | | |

(4) 病院・医院の数と夜間・休日などの医療サービス体制に満足している市民の割合 (%)【健康増進課】

| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
|---|---|--------|--------|--------|--------|
| 34.4⇒39.4 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 稲敷地域病院群輪番制及び休日緊急診療当番医制とも、特に問題なく運営されている。 | | | | |

ふるさと龍ヶ崎戦略プラン 進捗状況評価シート

| | |
|---------------|---|
| 重点戦略 | 4 安心と住みよさが実感できる生活環境づくり |
| まちづくり宣言（基本目標） | 12 交通インフラが充実した住みよいまちづくりを進めます。 |
| 宣言が目指すまちの姿 | 充実した公共交通網により、車に頼らず、便利に移動できます。高齢者も積極的に利用し、地域間の市民交流が盛んです。 |

1 総括

| | | |
|----------------------------|---------------------------------------|--|
| 進 捗 状 況 評 価 | C | 評価コメント |
| | | 当市の交通インフラにおいて、コミュニティバスの見直しと併せて乗合タクシーの運行を開始し、公共交通空白地域の解消を図ることができた。関東鉄道竜ヶ崎線の活性化やJR常磐線佐貫駅前の機能向上については、効果的な対策等を再度研究する必要がある。 |
| | A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要 | 今後の方向性（改善策） |
| | | 関東鉄道竜ヶ崎線の活性化や深夜バスの運行については、費用対効果を検証するため、再度、市民ニーズ等を調査研究し、新たな対策等と併せて方針を決めていく。コミュニティバスは引き続き持続可能な利便性向上に向けて、利用者の声や市民ニーズの収集を行う。 |

2 主要事業の概要

| 主要事業名【担当課】 | 実施工程進捗状況 | 取組状況と事業推進上の課題 |
|---|--|--|
| 優先プロジェクト 高齢者向け市内公共交通定期券の発行 【都市計画課】（再掲） | <input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市民ニーズを収集・検証するためのアンケート調査を実施し、この結果をもとに、地域公共交通会議において、当面は現行のコミュニティバスのみで定期券で運用し、今後の利用状況とニーズ等をさらに検証し拡大を図っていくことで事業方針を決定した。 |
| コミュニティバスの充実 【都市計画課】 | <input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | コミュニティバスの運行計画の見直しを行うとともに、公共交通空白地域の移動手段となる、デマンド的乗合タクシーの運行を開始した。コミュニティバスについては、運行規模が変わらないこともあり、ここ数年利用者が伸びない状況である。 |
| 関東鉄道竜ヶ崎線の活性化 【都市計画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input checked="" type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市民ニーズを収集・検証するためのアンケート調査を実施し、この調査をもとに、地域公共交通会議で協議した。結果、竜ヶ崎駅にアクセスする循環バスについては、引き続き利用者の実態や市民ニーズを把握するための調査を行い、事業目的のための新たな対策を調査研究していく。 |
| 竜ヶ崎線運行終了後の深夜バス運行 【都市計画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 遅れている <input checked="" type="checkbox"/> 見直しが必要 | 市民ニーズを収集・検証するためのアンケート調査を実施し、この調査をもとに、地域公共交通会議で協議した。結果、引き続き深夜バス運行についての現状調査や市民ニーズを調査・検証し、費用対効果を含めた調査研究を行っていく。 |
| JR常磐線佐貫駅前の機能向上 【都市計画課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 庁内関係課等において課題の整理や解決策の検討を行っているが、検討組織の立ち上げについては、市民ニーズを反映させるためのメンバー構成が他の主要事業との関連もあるため、慎重に検討する必要がある。 |
| 自転車の乗りやすい環境づくり 【都市計画課・施設整備課】 | <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 遅れている <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 主要事業「JR常磐線佐貫駅前の機能向上」と関連があることから、当該事業の庁内関係課等による検討会議と併せて検討を進めた。対象路線については、県や流域自治体と再検討を行う必要がある。 |

3 取組状況や成果に関する指標

| 指標 | 実績値，推移，他自治体比較など |
|------------------|---|
| コミュニティバス年間延べ利用者数 | 185,577人 つくば市：744,531人、取手市：210,951人 牛久市：189,316人、土浦市：162,977人 |
| | |

4 数値目標の達成状況

| (1) 鉄道やバスなど公共交通機関の利便性に満足している市民の割合 (%)【都市計画課】 | | | | | |
|---|---|--------|--------|--------|--------|
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 21.0⇒26.0 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 個々の生活スタイルにあった公共交通の運行が求められており、多種多様化する市民ニーズの中で、コミュニティバスの運行ルートやダイヤの見直し、各交通モードとの連携強化、安全性・快適性の向上といった公共交通の質を高めていくことが重要になってくる。 | | | | |
| (2) コミュニティバス年間利用者数 (人)【都市計画課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 190,331⇒200,000 | 185,577 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | H24年7月にコミュニティバスの運行計画(ルート・ダイヤ)を見直したが、利用者に定着するまで時間を要する。今後、利用状況を注視しつつ、市民ニーズや課題等についても情報を収集し、より市民ニーズの実態に合った利便性の高い運行計画を策定する。 | | | | |
| (3) 佐貫駅1日当たりの平均乗車数 (人)【都市計画課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 14,550⇒15,300 | 14,030 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 少子高齢化による通勤・通学者の減少などにより、利用者は年々減少傾向にある。根本的な改善として居住者の増加を図ることが第一であるが、まずは常磐線の利便性向上や佐貫駅のイメージアップ、佐貫駅に接続する交通手段の強化が必要である。 | | | | |
| (4) 関東鉄道竜ヶ崎線竜ヶ崎駅1日当たり平均乗車数 (人)【都市計画課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 1,250⇒1,320 | 1,155 | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input type="checkbox"/> 目標達成可能 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | 少子高齢化やモータリゼーションの進展により年々利用者が減少している。現在の利用者の確保と市民及び市外の方を対象とした新規需要の拡大を図るため、竜ヶ崎線の利便性向上、竜ヶ崎線の意識醸成、サポートする組織や制度の設立等を展開する。 | | | | |
| (5) お年寄りが生活しやすい施設・サービスに満足している市民の割合 (%)【高齢福祉課】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 18.3⇒23.3 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | コミュニティバスの充実や乗合タクシーの運行開始など、高齢者福祉施策については、目標値に向けた取り組みを進めているところでありベース値からの上昇が期待できる。目標達成に向けては、引き続き関係各課との連携を図ったうえで、事業展開を行い、市民サービスの向上に努めていく。 | | | | |
| (6) 交通安全対策に満足している市民の割合 (%)【危機管理室】 | | | | | |
| ベース値と目標値 | H24 実績 | H25 実績 | H26 実績 | H27 実績 | H28 実績 |
| 34.1⇒39.1 | — | | | | |
| 現状評価 | 現状分析と改善策 | | | | |
| <input type="checkbox"/> 目標達成 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成可能 <input type="checkbox"/> 目標達成は難しい <input type="checkbox"/> 見直しが必要 | カーブミラーの修繕について、職員で対応できるものは職員が迅速に対応したり、交通事故の多い場所への注意看板やシールなどの設置により交通事故の危険性が減っていると思われる。目標達成に向けては、信号機設置や交通規制などの警察署所管のものもあるため、警察署との連携を一層深めることが重要である。 | | | | |